

# 花の里づくりの会

第7号会報2011年4月1日発行



北杉山神社

住古より新羽町には、杉山神社が2社鎮座されて居り、俗に南・北と言われ、当社は北の杉山神社、御祭神は大己貴命、別名 大国主命と称し、誠に悠久なる歴史をもつ社であります。

神社名細帖によると、人皇第100代、後小松天皇の応永2年6月、三輪神道の先駆者、横地監物が大和国の御一之宮 大神神社(三輪明神)の御分霊をこの地に勧請し、慕崇山正一位杉山大明神と称し、この地を美和台と云々、とあり

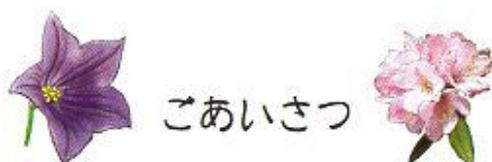
幸資以来、この地のみ奇跡的に雹の被災を免れ、農作物豊なりとある。氏子民の崇敬すこぶる篤く、祭儀、御祭神に因み 大国様の神像・ねずみの像は参拝者を出迎えています。

## 祭事暦

- 1月 3日 歳旦祭・交通安全祈願祭
- 2月 3日 節分祭・豆まき神事
- 5月15日 雹止祭
- 7月24日 虫送り祭・夏越大祓(茅の輪くぐり)
- 9月11日 風祭(220日祭)
- 10月第2日曜日 例大祭・神輿渡御

## 末者祭

- 2月22日 白山社祭
- 10月 1日 金比羅社祭
- 12月 3日 子大社祭(星祭)



月日の流れるのは早いもので、花の里づくりの会も発足して7年目を迎えることが出来ました。

植栽事業も会員皆様のご理解とご協力により目的に向かって一歩一歩進むことが出来ております。

取り組んでいる事業を多くの方々に知って頂くため、会報を新羽小学校の当該年度卒業生全員にお届けする事をはじめ、新羽中学校、新羽高等学校そして港北区役所等、多くの行政機関にも送付させて頂いております。

お知らせと致しまして、第2回会員相互の懇親会を5月中旬～6月上旬頃に開催する予定でありますので振るってご参加ください。

これからも皆様のご協力を頂きながら、より充実した活動をしてまいりますので、よろしくご挨拶申し上げご挨拶とさせていただきます。

花の里づくりの会 会長 中山 宏

### 大新羽音頭

作詞 中山 宏 作曲 うすいてつあ 編曲 伊戸のりあ

- |  |   |
|--|---|
| 1. みどり豊かな<br>小鳥歌えば<br>はげ心種まき<br>やがて花味く<br>新羽 新羽 新羽<br>サーサにこにこ<br>大新羽音頭で<br>みんな踊れ | 亀甲山に<br>夜が明ける<br>畑に巾着<br>実もつげる<br>新羽ずずめヨ・・・<br>輪になって<br>ソレソレソレ<br>みんな踊れ   |
| 2. 会も昌も<br>花を咲かせて<br>盆の踊りは<br>秋の祭りは<br>新羽 新羽 新羽<br>サーサにこにこ<br>大新羽音頭で<br>みんな踊れ    | 宮わらぬきに<br>春を呼ぶ<br>あやめの浴衣<br>ひげん花<br>新羽ずずめヨ・・・<br>輪になって<br>ソレソレソレ<br>みんな踊れ |
| 3. 市営地下鉄<br>語る歴史の<br>先輩の教えを<br>知恵をしほって<br>新羽 新羽 新羽<br>サーサにこにこ<br>大新羽音頭で<br>みんな踊れ | 高速道路<br>鶴見川<br>心に刻み<br>出づくり<br>新羽ずずめヨ・・・<br>輪になって<br>ソレソレソレ<br>みんな踊れ      |

### 大新羽音頭



平成16年に時代に合せて地元の有志で作った大新羽音頭です。

平成 22 年度の植栽及び事業実績

- ◆新羽丘陵公園◆  
丘陵公園の花壇の植栽に補助
- ◆県立新羽高等学校◆  
通学路の美化整備の花の苗の協力
- ◆市立新羽小学校 卒業記念樹◆ 5/6月  
サンシュ 2本
- ◆善教寺◆  
モミジ 赤1本
- ◆光明寺◆  
シャクヤク 30株、ヒガンバナ 100球
- ◆西方寺◆  
ツバキ、ヒガンバナ 300球



善教寺のテッポウユリ

平成 23 年度の植栽及び事業予定

- ◆新羽丘陵公園◆  
丘陵公園の花壇の植栽に補助
- ◆県立新羽高等学校◆  
通学路の美化整備の花の苗の協力：年2回
- ◆市立新羽小卒業記念樹◆ 5/7月  
未定 2本
- ◆専念寺◆  
整備が終わり次第、モミジと桜を中心として植える
- ◆光明寺◆  
ヤマブキ 20本、シャクヤク 20株
- ◆杉山神社◆  
必要があれば植える
- ◆西方寺◆  
ツバキ 20本、ウツギ 20本
- ◆善教寺◆  
モミジ 10本、ユキヤナギ 20本、キキョウ 30株
- ◆その他◆  
枯れた木などの補植



県立新羽高校の花苗植え込み風景



No.

記念植樹で、一人ずつエスカボセたり歌、  
たりして、とてもいい思い出になりました。  
そして、私の中で一番心に残っているのは、  
看板作りです。一生心に残るような看板にし  
たいと、裏に各クラスの学級目標を書くこと  
にしました。友達と協力して完成させた時は  
うれしくて、思わずとびはねてしまいました。  
みんなが看板を見て六年生の楽しさ、日々  
々を思い出してくれればいいなと思います。

六年一組 川又 彩緒里

No.

前日に雨が降ったため、トルネード公園は  
少ししめ、ていました。そこに、記念樹のサ  
ンツユをみんなと協力して植えました。  
当日は、みんなでひとほりすつ穴をほ。た  
り、ベクトルボトルでサンツユの周りに水を  
や。たりしました。想像していたより簡単で  
した。終わ、た時にはくっが、ドロまみれに  
な、てしま、たけど、楽しい思い出に残る行  
事になりました。友達とまた見に来たいです。

六年一組 渡辺 智哉



No.

サンジュエの記念樹をハヤレ人全員で植えました。元気な木に育ってほしいと、水をたくさんあげました。みんなの気持ちを一つにして協力して植えたので、きっときれいな花が咲く木になると思います。この木がこれから何十年もその場所において、公園へ遊びに行くたびに強かく見守ってくれるような気がして、とってもいいなと思います。

この思い出をずっと忘れたくないです。

六年二組 多井 香

No.

最初は、記念樹を植えるのなんでも簡単なことだと思っていました。港北区長さんまで来てくれたことで、たくさんの方々が協力してくれて、みんな協力して楽しく植えられたのでよかったです。中学生になっても、もともとは大きくなっても記念樹のことを忘れないで、思い出したらまた見に行きたいです。

六年二組 寺澤 慶亮



No.

ぼくたちは、三月一日にトルネード公園で、卒業記念のサンシユを植えました。サンシユは、黄色いっぱみがい。ばい付いていて、とてもかわりかたです。手や足がドロドロになりながら大きな穴をほりました。その後、水をあげたサンシユは、とても生き生きしているように思いました。自分達が大人になった時にサンシユがどのくらい成長しているのか友達と一緒に見に来たいです。

六年三組 上野 裕喜

No.

地域の方々のおかげで、港北区で記念植樹が出来るのは新羽小学校をけというふうに聞きました。今回は、貴重な体験ができてとても良かったです。今までの記念植樹がズボッと並んでいて、最初の木は今の高校3年生の人たちのものでした。私が高校3年生になった時、今回植えたサンシユも大きくなるとほしいです。このような行事も毎年続けていくことで、もうもありがたうございました。

六年三組 鈴木 妙実



山菜萁(さんしゅゆ)

新羽小学校長 渡辺 洋久

卒業式まであと数日に迫ったこの時期、早春の新羽小学校に向かって歩いていると、ひと月前までは、椿ぐらいしか見られなかったことを忘れるほど、木々の花々が次々と目に入ってくる。特に、紅梅や白梅が木の枝いっぱい花を咲かせていて、風はまだまだ冷たくても、心は温かくなってくる。

新羽小学校の児童が「トルネード公園」と呼んでいる、新羽丘陵公園を眺めると、公園の一角を覆う芝桜の濃いピンク色が目に飛び込んでくる。芝桜が咲く一角の左隣前方には、六本の樹木が見える。これが、新羽小学校を卒業する児童が、毎年植え続けてきた、卒業記念樹だ。

この時期、花は咲いているのだろうか。小学校の敷地からでは見えないので、少し歩いて、記念樹の側まで行ってみた。するとシデコブシの花が白く長い花弁を開いて、たくさん咲いている。さらに、一番端にある、もう何日か後に卒業する六年生が半月前に植えたばかりの山菜萁の木に目を向けると、もうすでにたくさんの黄色い小さな花を咲かせているではないか。新羽の町に春を告げる花々の仲間に、卒業生が植えた木々が入っていることを確認して、心の底から柔らかな喜びがふつつつとわき上がってきた。

春先に咲く木々の花は、白が目に行く。その中で、今年の卒業生たちが植えた「山菜萁」の黄色い花はよく目立つ。植えたばかりの年にもたくさんの花を咲かせたのだから、来年以降も、花を増やし、新羽の春を彩ってくれることだろう。

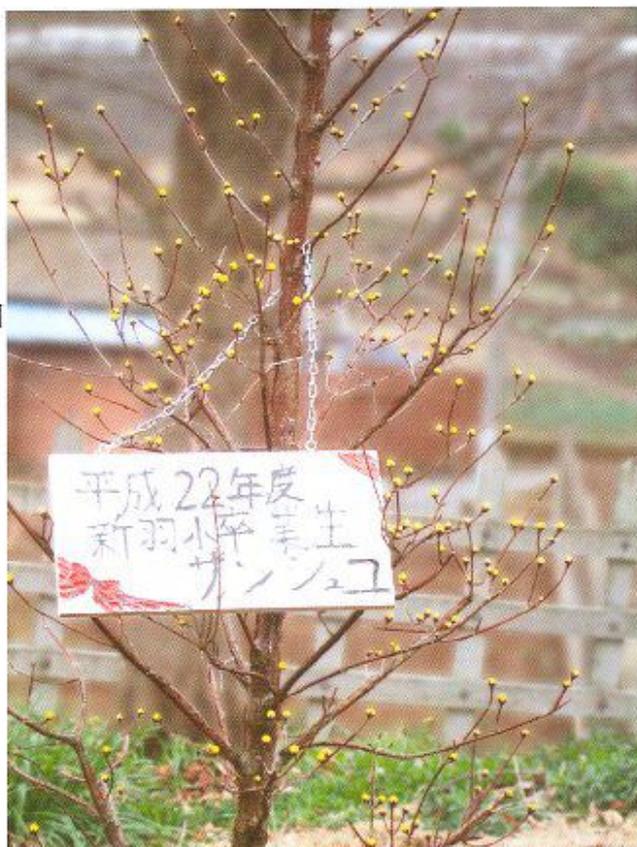
卒業生には、これからも折々に、この木を眺めに集まって欲しい。それが、この木を贈ってくださった花の里づくりの会の皆様の願いなのだから。

第六回卒業記念植樹祭にPTA代表で参加させていただきました。花の里づくりの会・丘陵公園愛護会の皆様のご好意により、子どもたちが遊び、授業で利用した思い出深い公園に記念樹を皆で植えられる子どもたちがとても羨ましいと思いました。今年はサンシュユという木でこれからの季節に小さな黄色い花がたくさん咲くそうです。丘陵公園は愛護会の皆様が花壇や草花を管理してくださりとても緑豊かな場所です。いずれ親になり、子どもと遊べるようになったら是非公園に訪れ、サンシュユの木を親で自慢してください。そしてその子どもも、後に丘陵公園に記念樹を植える、そんな素晴らしい地域、公園であり続けて欲しいと思います。

新羽小学校PTA会長 安保広美

### 山茱萸 さんしゅゆ

“さんしゅゆ”の名前の由来は、日本に渡来した当時の漢方薬名である『山茱萸』（さんしゅば）をそのまま和音読みしたものとされています。「茱萸」は中国語では、グミを指します。このさんしゅゆは、早春に黄色い小花を20～30個集合して散形花序で咲かせ、秋に珊瑚のような赤い果実を多数つけます。これがグミの赤い実に似ているのです。分類学的には、ミズキ科サンシュユ属の耐寒性落葉広葉小高木です。葉が出る前に黄色い花が咲きます。中心に冠が乗っている様な四弁花で、外側に下方に巻く様に咲きます。江戸時代の享保年間(西暦1716～1738年)に薬用植物として、中国や朝鮮から渡来した植物です。



秋になると赤い実をつけますが、その果肉に含まれるイリドイド配糖体等の成分が滋養強壯の効果があるとして漢方薬に配合されています。しかし現在では、鑑賞用の樹木として使われています。樹性は強健で、耐寒性もかなり強い木です。日当たりが良く、水はけの良い、有機質に富んだ肥沃地が最適ですが、普通の土壌であれば育ちます。ただし日当たりが良くない処では、花つきが悪くなります。



## 県立新羽高等学校の通学路美化整備



花に囲まれ、地域とともに！ 県立新羽高等学校 副校長 布川 勝也

生まれも育ちも勤めも川崎大師近くだった私が齢 50 にして、緑豊かな新羽の地に降り立ちました。感動です。

「花の里づくりの会」の皆様から予算上の措置をいただき、新羽高校の敷地の入り口の三角状の飛び地を、プランターによる植栽で整備できるのは誠に贅沢なことです。聞けば平成 19 年までは、背の高い雑草により見通しが悪く、登下校の際の安全確保に支障があったそうです。お蔭様で、安全かつ美しく整備することができました。6 月 17 日にはマリーゴールド・ペゴニア・ペキュニアを、11 月 24 日にはバンジー・ピオラ・チェリーセージ・ノースポールを植栽し、大切に水遣りしています。地域の皆様に喜んでいただけているのでしょうか。今後も地域の皆様とともに新羽高校は歩んで参ります。



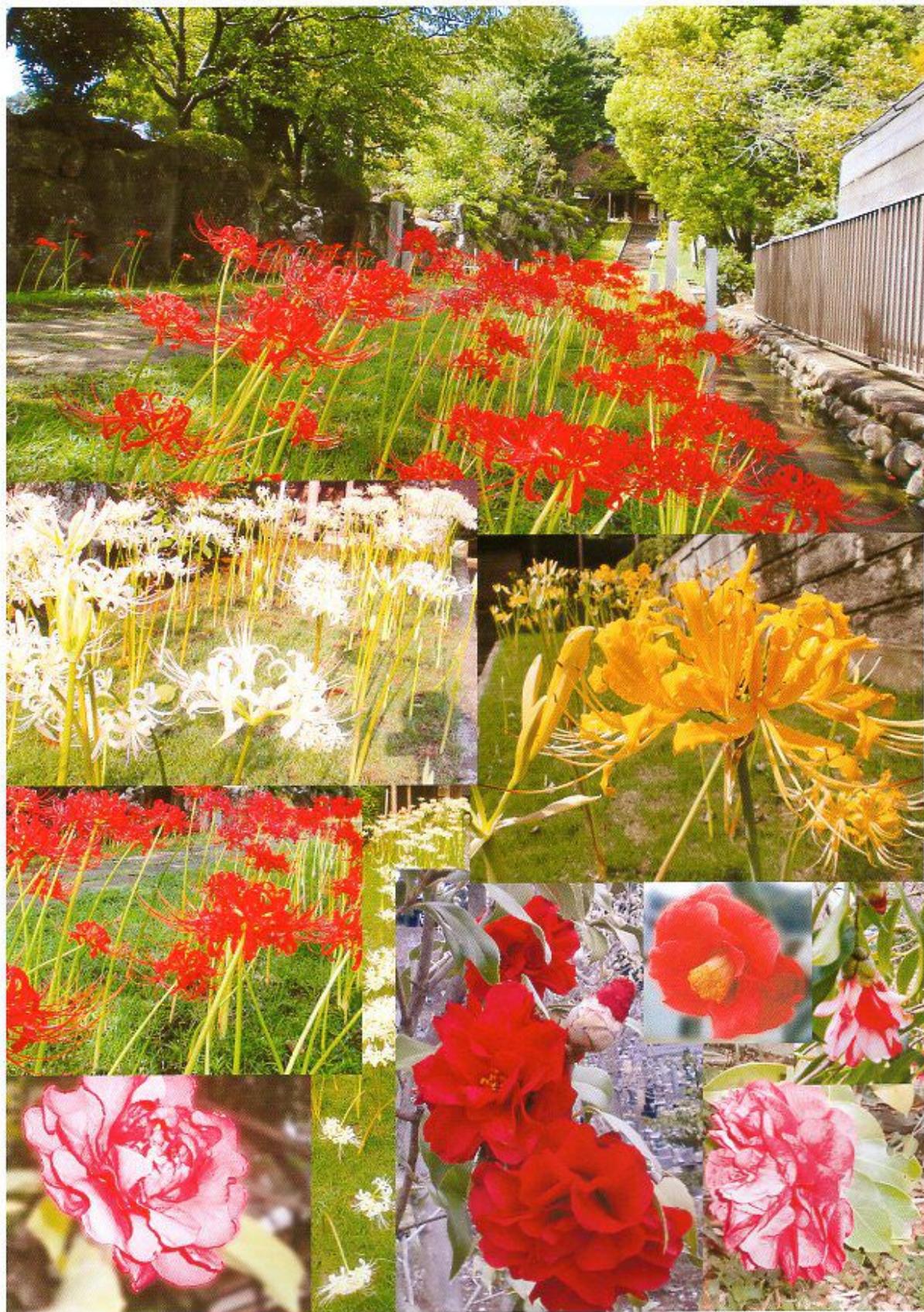
光明寺



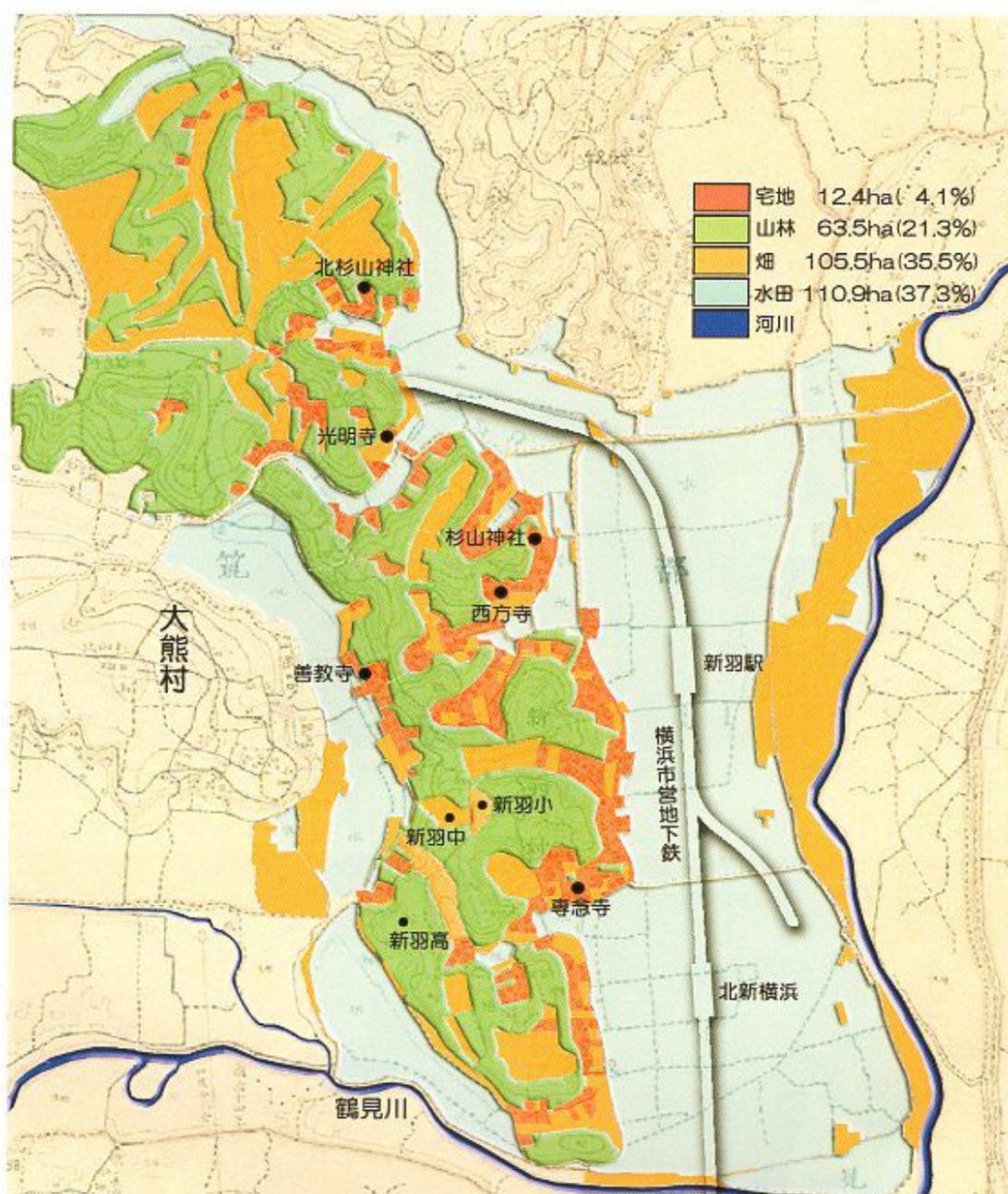
# 善教寺



西方寺



## 明治時代の新羽村



明治15年の新羽村(迅速測図及び新羽村縮切図より)

この地図は明治15年頃の新羽村を描いた物で、陸軍が作戦用に急遽作った『迅速測図』です。当時としては最新のフランス式地形図です。ただし細かい地目が解らないので、地元の米山さんが持っていた『新羽村縮切図』という細かい一筆ごとの地目等が記載されたものを重ね合わせて作った物が上の図面です。当時は純粋な農村地帯で、水田が37%で畑が35%でした。今の様子と比べて見てください。ところで新羽村の新とは新墾地(開墾地)を指し、八は山の端を意味するとされます。新羽郷の地名の初見は、正応3年(1290)で鶴岡八幡宮の文書です。昭和14年に横浜市に編入されましたが、新羽町は、港北区内で最も工場の多い地域で、区内にある1,255の工場の内、348工場が集中しています。



新羽丘陵公園での卒業記念植樹にて 花の里作りの会 会長あいさつ



新羽丘陵公園での卒業記念植樹にて 新羽小学校 生徒あいさつ

本会の趣旨に賛同して参加いただける会員と新たな候補地としての寺社仏閣を、募集しております。ご希望の方はお申し出下さればご説明させていただきますので、会長宅までご連絡下さい。

花の里づくりの会 会報第六号 **2011年4月**発行

発行者 花の里づくりの会 会長 **中山 宏**

お問合せ先 045-541-5578 (事務局 中山宏 宅)